

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

計画の名称	1 安心して健やかに暮らせるまちづくり									
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）					交付対象	上野原市			
計画の目標										
下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 (事業認可区域においては、これまでに浸水被害の経験は無く、雨水排除について当面、在来の排水施設で充足していると考えられるため、雨水施設を除外し分流式下水道とする。)										
計画の成果目標（定量的指標）										
・ 下水道処理人口普及率を 43.2% (H22) から 45.2% (H26) に増加。										
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考	
						当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)		
下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 上野原市総人口						43.2%	44.2%	45.2%		
全体事業費	合計 (A + B + C)	369百万円	A	297百万円	B		C	72	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	19.5%

交付対象事業																	
A 1 下水道事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
A1-1-1	下水道	一般	上野原市	直接	-	汚水	新設	上野原第1処理分区(普及促進)	=200 L=2,624m	上野原市	H22	H23	H24	H25	H26	88	
A1-1-2	下水道	一般	上野原市	直接	-	汚水	新設	上野原第3 - 5処理分区(普及促進)	=200 L=2,644m	上野原市						209	
小計(下水道事業)																297	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号																	備考
C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
C-1-1	下水道	一般	上野原市	直接	-	新設	上野原第1処理分区枝線整備	=150 L=107m	上野原市	H22	H23	H24	H25	H26	8		
C-1-2	下水道	一般	上野原市	直接	-	新設	上野原第3 - 5処理分区枝線整備	=150 L=1,035m	上野原市						64		
合計																72	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
C-1-1	基幹事業である幹線と接続した小規模な汚水管の整備を一体的に行うことにより、早期の供用開始を計りたい。																
C-1-2	基幹事業である幹線と接続した小規模な汚水管の整備を一体的に行うことにより、早期の供用開始を計りたい。																

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

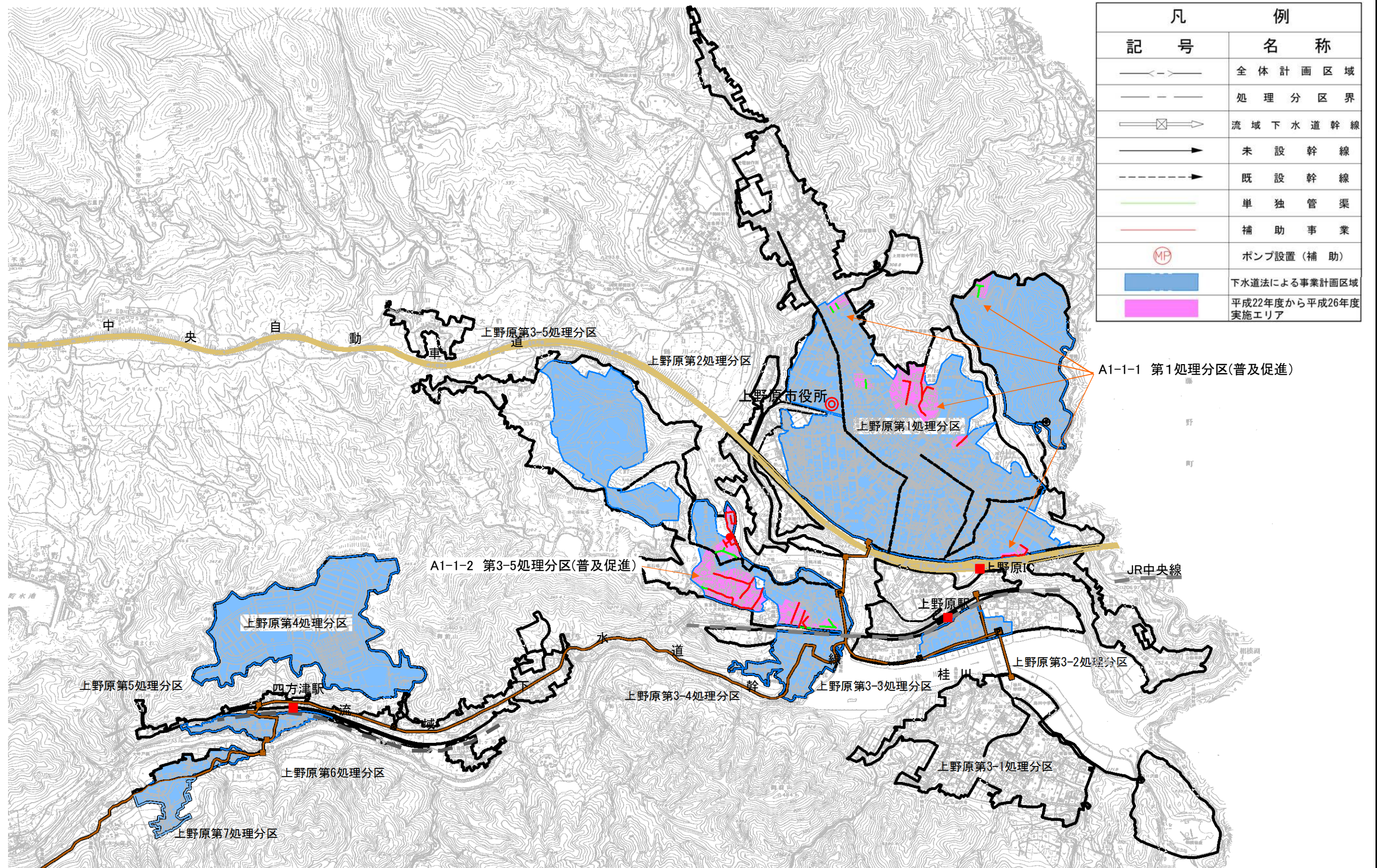
平成 00年00月00日

計画の名称	安心して健やかに暮らせるまちづくり											
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）					交付対象	上野原市					
計画の目標												
下水道の整備を行い、安全、安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
計画の成果目標（定量的指標）												
下水道処理人口普及率を43.2%（H22年度当初）～45.2%（H26年度末）に増加させる。												
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考	
									当初現況値 （H22年度当初）	中間目標値 （H24年度末）		最終目標値 （H26年度末）
		下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）							43.2%	44.2%	45.2%	
全体事業費	合計 （A + B + C）	224百万円	A	204百万円	B		C	20百万円	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C）	8.9%		
事後評価												
事後評価の実施体制、実施時期												
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期					
							平成27年12月実施					
上野原市企画会議							公表の方法					
							上野原市ホームページにて公表					

2．事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		下水道処理人口普及率は、43.2%から45.7%となり、約6 2 0 人が下水道を使用できるようになった。計画期間において1 3 ．7 haの供用を開始した。			
定量的指標の達成状況	指標（下水道 処理人口の普及 率）	最終目標値	45.20%	目標値と実績値 に差が出た要因	人口密集地を優先して整備することにより、目標を達成することができた。 平成2 6 年度末総人口24,946人、処理人口11,412人となっている。
		最終実績値	45.74%		
	指標	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
	指標	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3．特記事項（今後の方針等）					
定量的指標の目標値は達成することができた。今後は、費用対効果を考えつつ、下水道事業に取り組んでいく。 評価会議は、平成2 7 年1 2 月開催し、内容の報告を行った。今後大きな事業として、上野原駅南口の開発がある。また、同時に、ハツ沢地区の未整備地域の整備を進めていく。					

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

計画の名称	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	山梨県上野原市



交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H22	H23	H24	H25	H26
配分額 (a)	28.50	25.65	26.00	14.00	19.50
計画別流用 増△減額 (b)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
交付額 (c=a+b)	28.50	25.65	26.00	14.00	19.50
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	28.50	25.65	26.00	14	19.04
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0.46
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0.46
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0.00
未契約繰越＋不用率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	－	－	－	－	－

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。
※ 令和元年度（平成31年度）は、決算額が確定でき次第記載。